

## 令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名：国際交流情報提供事業

【事業番号】

533】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	08 协働	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 国際交流の推進	具体的な施策						
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

## 事務事業の目的と成果及び指標

## 対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市内通勤、通学者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標 2						

## 手段（事務事業の内容、手法）

日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。

1. 文書、刊行物等の翻訳、監修
2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力
3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力
4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力
5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇
6. 在住外国人へのサポート

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	75	122	177	190
活動指標 2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	272	141	200	700

## 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 地域住民等が国際感覚や国際意識を持つ
2. 地域住民等の異文化に対する理解が深まる
3. 在住外国人にも住みやすいまちになる

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	67	238	846	1,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	5,566	5,439	3,730	4,015
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,141	1,141	1,152
総 事 業 費 (A+B)		千円	6,710	6,580	4,871	5,167

事業内容（主なもの）			費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講演（出前講座、語学教室等）</li> <li>・刊行物等の翻訳</li> <li>・市ホームページの作成、更新</li> <li>・姉妹都市グレシャム市との連絡調整、文書作成等</li> <li>・在住外国人への情報提供 ほか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員報酬 3,720千円</li> <li>・国際交流員費用弁償 10千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
地域住民の国際理解や在住外国人にとって住みやすいまちづくりを推進するため、日本語が堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員として雇用することとした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
社会のグローバル化が進むにつれ、将来を担う子どもをはじめとする市民が、国際感覚や国際意識を持って国際理解を深めることやコミュニケーションスキルを向上させる必要性が高まっており、そのための情報発信や諸外国からの情報収集はますます重要となっている。 令和元年度以降は、新型コロナウイルスの影響により、海外への渡航等も安全を確保できない状況となり、外国人の入出国も困難な時期が発生するなど、直接的なコミュニケーションの機会を設けることが難しい状況となっていることから、オンラインを積極的に活用するなど停滞することのないよう取り組んでいる。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
<b>成果動向及び原因分析</b>	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	<p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から3年度にかけて、国際交流員による江別国際センターでの英会話教室、子育て支援施設「ぼこあほこ」での幼児向け英語教室が一部休講となつたほか、国際交流イベントが縮小開催または中止を余儀なくされるなど、参加者数の減少が続いていたが、その間も在住外国人をはじめとする地域住民に対する情報提供を充実させるなど環境整備を進めていた。</p> <p>令和4年度は、情報発信をより一層強化したことや行動制限の緩和等により講座等の開催回数が増加したことにより、参加者数が回復し、成果の向上に繋がった。</p>
<b>成果向上余地</b>	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	<p>国際交流員の活動は、地域住民にも広く受け入れられており、市民の国際感覚や国際意識を高め、異文化に対する理解を促進するなど一定の成果を上げている。</p> <p>国際交流員は、特に市ホームページや講座、イベント等での情報発信を強化するとともに、在住外国人を含めた地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、交流の機会を増やしていることから、在住外国人にとっても住みやすいまちづくりの推進に繋がっている。</p> <p>市内の在住外国人は年々増加傾向にあり、今後こうした国際交流員の活動に対するニーズが高まると想定されることから、さらなる成果の向上が期待できる。</p>
<b>コスト</b>	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	<p>国際交流員の報酬については、業務内容に即したもので、かつ一定レベルの生活保障が必要不可欠であるため、これ以上のコスト削減は困難である。</p> <p>なお、そのほかの経費について実費弁償とするなど、必要最小限の支出にすることで、可能な限りコスト削減を図っている。</p>

## 令和5年度 事務事業評価表【評価版】(令和4年度実績)

事業名：江別市都市提携委員会補助金

【事業番号】

540】

生涯学習課 生涯学習係

政策	08 协働	戦 略						
取組の基本方針	02 国際交流の推進	具体的な施策						
開始年度	昭和52年度	終了年度	一	区分1	継続	区分2	単独	補助金 団体運営補助

## 事務事業の目的と成果及び指標

## 対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						

## 手段（事務事業の内容、手法）

姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。

補助金内訳：高校生相互交流にかかる経費 ほか

（江別市都市提携委員会補助金交付要綱）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	100	100	100	1,030
活動指標 2						

## 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。

1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす

3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会やまちづくりに貢献する

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	0	0	0	3
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	0	0	0	3

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	100	100	100	1,030
正職員人件費 (B)		千円	381	380	380	384
総 事 業 費 (A+B)		千円	481	480	480	1,414

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<p>以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市グレシャム市との高校生相互オンライン交流事業</li> <li>・姉妹都市、友好都市に関する市民PR</li> <li>・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力</li> </ul>	江別市都市提携委員会の事業実施に対する補助金 100千円

事業開始背景		
江別市都市提携委員会は、江別市と米国オレゴン州グレシャム市との姉妹都市、江別市と高知県土佐市との友好都市の提携に伴い、教育、文化、産業、経済等の交流を図るための諸事業を積極的に推進し、相互の友好親善の中心的役割を担うことを目的に昭和53年に設立された。		
事業を取り巻く環境変化		
姉妹都市や友好都市との交流の懸け橋として、市内各種団体で構成する都市提携委員会に求められる役割は重要なっている。また、姉妹都市高校生相互派遣事業について、グレシャム市への派遣を希望する生徒が年々増加傾向にあったことから、国際交流及び国際理解への関心の高さが伺えたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降中止が続いている。令和4年度においては、事業の中止に伴う姉妹都市交流の停滞や市民の国際交流及び国際理解への関心の低下を避けるため、代替事業として、オンラインによる交流を実施した。		
令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により、姉妹都市グレシャム市との高校生相互派遣事業の中止が続いていることから、成果の向上には至らなかった。 一方で、代替事業として、オンラインによる交流を実施し、生徒が異文化に触れる貴重な機会となり、姉妹都市との友好の絆を再確認できたことから、コロナ収束後の事業再開に向け、良い契機となった。
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となり、水際対策等が緩和されたことにより、今後、姉妹都市グレシャム市との高校生相互派遣事業の再開が見込まれる。 この事業は、その後の学校生活や将来の職業、生活にとって大きな経験となるもので、その経験を様々なイベントやツールを通して広く市民に発信することにより、より一層の成果の向上に繋げていく。
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	原油価格の高騰等による航空運賃の値上げが続く中、今後再開が見込まれる高校生相互派遣事業をはじめ、姉妹都市及び友好都市の架け橋としての事業に必要最小限のコストで取り組んでいるため、これ以上の削減は事業の縮小に繋がり、当委員会の成果の低下へと繋がる。
	ある なし	理由根拠

## 令和5年度 事務事業評価表【評価版】(令和4年度実績)

事業名：市民交流施設関連経費（江別国際センター施設管理費補助金）

【事業番号

6400】

生涯学習課 生涯学習係

政策	08 协働	戦 略						
取組の基本方針	02 国際交流の推進	具体的な施策						
開始年度	令和元年度	終了年度	一	区分1	継続	区分2	単独	補助金
								団体運営補助

## 事務事業の目的と成果及び指標

## 対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市国際交流推進協議会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	25	24	24	25
対象指標 2						

## 手段（事務事業の内容、手法）

江別市内の国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が運営している「江別国際センター」の維持管理にかかる経費の一部を補助する。

補助金内訳：施設管理費、人件費等の一部  
(江別国際センター補助金交付要綱)

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,163	2,222	2,322	2,523
活動指標 2						

## 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

国際交流施設の運営が安定することにより、国際交流事業が積極的に推進される。

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	6,188	4,941	7,393	6,831
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	2,163	2,222	2,322	2,523
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,141	1,141	1,152
総 事 業 費 (A+B)		千円	3,307	3,363	3,463	3,675

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	以下の事業を実施する江別国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出す。 ・外国人と市民の交流イベントの実施 ・会報、ホームページ等での広報、情報提供 ・外国人に対するホームステイや通訳等のサポート支援 ・主に外国人技能実習生を対象とした日本語教室の開講	江別国際センター施設管理等に対する補助金 2,322千円

<b>事業開始背景</b>
江別国際センターは、市民や各国際交流団体が事業や交流活動を行うための活動拠点として平成8年に開設され、地域の国際理解・国際交流の推進に大きな役割を担う団体として市内の大学や各国際交流団体等で構成された「江別市国際交流推進協議会」が管理・運営を行うこととなった。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
当初の開設場所から平成24年7月の商業施設内への仮移転後は、より一層、語学教室やイベント等が積極的に開催され、利用者が増加した。令和元年12月には、野幌駅南口の「市民交流施設ぶらっと」に移転し、さらなる利便性の向上が図られた。令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により、施設利用者の一時的な減少は見られたものの、従来からの事業継続に加え、施設内の「市民活動センター・あい」との連携による事業を模索するなど、新規利用者の増加に向けて取り組んでいる。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
<b>成果動向及び原因分析</b>	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	<p>江別国際センターは、多様な活動を通じて地域の国際理解・国際交流の推進に大きな役割を果たしているとともに、市内在住外国人が安心して快適に暮らすためのサポート機能も担っている。新型コロナウイルスの影響により、特に令和2年度から3年度にかけて、語学教室の休講や各種イベントの縮小開催または中止を余儀なくされたことで、利用者数が一時的に減少したが、その中でも当該センターの役割やサポート機能を低下させることのないよう、工夫を凝らしながら可能な範囲で運営を続けた。その結果、令和4年度は、行動制限の緩和等もあり、施設利用者数が増加し、成果の向上に繋がった。</p>
<b>成果向上余地</b>	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	<p>市内の大学や各国際交流団体等で構成された組織である江別市国際交流推進協議会に対し、同協議会が管理・運営する江別国際センターの維持管理経費の一部を補助することにより、市内の国際理解・国際交流に係る安定的な活動拠点が確保できている。さらに、市内の在住外国人が年々増加傾向にあり、江別国際センターに対するニーズが高まっていることから、新型コロナウイルスの収束とともに利用者数が増加し、成果向上に繋がる可能性は高い。</p>
<b>コスト</b>	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	<p>光熱水費等については、固定的な費用であり、高騰が続く中、これ以上のコスト削減は、江別国際センターの安定的な運営に支障をきたす可能性があるため、難しい。今後は、既存事業の拡大や施設の利便性を活かした新たな事業の実施などを検討し、安定的な自主財源の確保に努める。</p>